

平成24年度 元気な十和田市づくり市民活動支援事業 交付実績

(単位:円)

スタート応援コース (4事業 400,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
1	「太素の水」保全と活用連合協議会	市民による市民のための「太素の水プロジェクト」サイト立ち上げ事業	①市民による[太素の水プロジェクト]サイトづくり ②サイトを活用した情報発信と交流の仕組みづくり ③市民の力でサイト運用を持続できる体制づくり	100,000
2	十和田サンバ実行委員会	十和田サンバカーニバル	本年8月4日、市内産馬通りで、サンバのパレード(4~5チーム)を実施。	100,000
3	とわだ軽トラ市実行委員会	生産者と消費者が触れ合う元気な「とわだ軽トラ市」	生産者と消費者がふれあい、十和田市のにぎわいにつなげるため、6月から10月まで、毎月第2土曜日に「とわだ軽トラ市」を開催する。集客のためのチラシ制作と新聞折り込み、販売陳列台を制作したい。	100,000
4	駒っこ少年野球実行委員会	十和田市の野球少年の夢を広げる事業	単独ではチームを構成できない小規模校の児童も参加できる十和田市連合少年野球チームを結成し、大会に参加するため、ユニフォーム、ヘルメット、キャッチャー道具を整備する。	100,000
ステップアップ応援コース (9事業 1,932,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
5	十和田市名水保全対策協議会	優れた水環境を未来に伝えよう!三日市地区湧水地環境整備事業	市内沢田三日市地区稲荷神社境内にある遊水地の周辺環境・水質改善のため苔シートの設置を行う。	300,000
6	Kyosokyodo (共創郷土)	未来遺産十和田 市民共創のウォーキングマップ事業	太素ウォークで歩いているコースを中心に、未来遺産登録となった十和田のPR、子どもたちの郷土学習、観光や健康づくりに役立つ、ウォーキングマップを制作する。	200,000
7	十和田しゃべり場の会	市民との協働を、先進者から学ぶ	外部の識者を招いて、市民が行政や議会との協働を学ぶ講演会を開催する。マニフェスト大賞グランプリを受賞した葛西憲之弘前市長、同大賞の三沢市議会会派「みさわ未来」を講師に想定。	64,000
8	社団法人 十和田青年会議所	アートで被災地支援事業	東日本大震災の被災地を継続的に支援するため、ワークショップを開催し、その作品を用いて十和田市秋祭りにパレード参加し、募金を募る活動等を行う。	300,000
9	十和田シニアパソコンクラブ	シニア世代パソコンライフ事業	毎週日曜日に中央公民館で開催しているシニアパソコン講座の受講会員の増加に伴い不足なパソコン、プリンタを購入する費用の一部に充てる。	200,000
10	まきば町内会	高齢化に備え、転ばぬ先の知恵を身につける活動	①元気に老いるためのヒントをいただく講話の開催 ②様々な介護施設を訪問する研修の実施	240,000
11	社団法人 青森県建築士会十和田支部	子供たちから見た、十和田市のこんなところ、あんなところ	子どもたちの視点で十和田市のまちなみの魅力と課題を考えるワークショップを開催する。ワークショップは北原啓司弘前大学教授の提唱する「まち育て」の手法を用いる。	208,000
12	セーフコミュニティとわだをすすめる会	市民の命を守る安全安心応援隊事業	①子どものうちから、いのちの大切さを考え「無料おやこ寄席」の開催 ②家庭内の転倒事故予防のための屋内環境改善活動の実施 ③家庭内の危険箇所、耐震家具配置診断活動の実施	120,000
13	特定非営利活動法人十和田NPO 子どもセンター・ハビタの	あそび環境事業「あつまれ!あおぞら児童館!」	青空のもと、旗を立てた所を児童館とみなし、こどもたちの成長に必要なあそび環境を提供する。 回数 年4回(7月、9月、10月、平成25年2月)	300,000
市民協働活動応援コース (2事業 4,346,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
14	豊ヶ岡町内会	豊ヶ岡地区、屋外活動コミュニティの拠点整備事業	豊ヶ岡農村公園にある藤棚が老朽化したため、片屋根のあずまやづくりに修繕する。	366,000
15	北園小学校 父母と教師の会 (PTA)	創立60周年記念グラウンド整備事業	創立60周年事業として、北園小学校のグラウンドの改善整備を行う。現況、雨の日は水はけが悪く、晴れの日が続くと固い地面となり子どもたちの擦り傷が絶えない。	3,980,000
合計				6,678,000